


水痘(みずぼうそう)の治療を受けられる患者様へ

かとう小児科

	初診日	翌日以降
月日	月 日 ()	
お薬	抗ウイルス剤()が1日()回()日間で、他の薬は1日()回()日間で内服して下さい。 塗り薬は発疹を隠す様に塗ってあげて下さい。	自然の経過ではかさぶたになるまで1週間ほどかかりますが、抗ウイルス剤を使うと3~4日ですみ、かゆみもあまりひどくなりません。 抗ウイルス剤は途中で止めたりせず全部服用してください。
診察	水痘の疑いのある方は、別室でお待ちいただくことがあります。	
経過	水痘や帯状疱疹の人に接触してから約2週間の潜伏期のあと、体に虫さされのような痒みをともなう赤い発疹ができ、24時間以内にその先端に水をもつようになります(水疱)。発熱はあっても原則として軽いです。	
入浴	熱がある間や、新しい水泡が増えている間は控えてください。	熱がなくほとんどの水泡がかさぶたになれば入浴してもかまいません。ただし、かさぶたを掻きむしらないようにして下さい。痕が深く残ることがあります。
登園・登校のめやす	出席停止扱いになります ので、園や学校へ連絡して下さい。	登園、登校基準はすべての発疹がかさぶたになってから となっています。 治癒証明書が必要な方は、園や学校所定の用紙をこの日に持ってきて下さい。
その他	水痘が治ったあともウイルスは潜んでいて、数十年後に何らかのきっかけで再び病気になってしまうことがあります。これは帯状疱疹といわれる病気です。大人になってから水痘に感染すると重症になる事が多いので、子供のうちにすませるのはよいことで、まだ水痘にかかてない大人が周囲にいる場合には注意が必要です。	

